日本キリスト教団 東金教会〔４７〕

2017年11月19日 降誕前第６主日礼拝

年度目標　《神と共に闘う信仰者》

聖　句　しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。　エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	藤本
奏楽	中里
受付	今井
案内	安延
名札	宮中
礼拝感謝祈祷	藤田
〃　〃	三枝
前奏	中里
讃美歌４６５	一同
使徒信条５６６	〃
交読文３０	司・会衆
主の祈り５６４	一同
聖書 出エジプト記 6:10～13	司会者
祈祷	藤本
讃美歌４６１	一同
み言葉の伝え	朴
［どうして私ですか］	
讃美歌２９１	一同
幼児祝福式	中村征一郎
讃美歌４６７	一同
献金	
礼拝感謝	藤田
〃　〃	三枝
報告	藤本
頌栄５４１	一同
祝祷(派遣)	朴
後奏 新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　11月22日(水)午後7:30より
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習　本日礼拝後
聖書輪読会　11月26日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　11月26日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は幼児祝福礼拝を持ちました。幼な児の健かな成長を願い、共に祈り合わせて行きたいと思います。
☆本日午後１時、美浜教会より10数人の方々が来訪の予定です。会堂建築を予定しておられ、参考のための見学及び牧師の話しを聞きたいとのことであります。
☆次週26日は謝恩日献金として第二献金が予定されています。宜しくお願い致します。
☆九十九里教会クリスマスコンサートのご案内が来ております。12月2日(土)午後３時より開始です。お時間のございます方はお出かけ下さい。

【定期長老会報告】

日時…11月5日礼拝後　場所…教会事務室
出席…中村牧師　朴牧師　森川　(書記) 岡村　安延　足立　土屋　藤本
議事…①納骨堂維持管理費を森川長老に前渡しの件　②クリスマス・プレゼントを幼・保教職員,教会学校奉仕者,奏楽者に贈呈の件　③12月24日のクリスマス祝会司会を安延　長老担当の件　④クリスマス燭火礼拝に東金混声合唱団及び松本　氏の賛助を頂く件　⑤教会・幼稚園・保育園行事報告の件(11/9幼稚園卒園旅行　11/26梅田　,姉転会の件　12/3アドベント開始　12/10按手式於・西千葉教会　12/15幼・保クリスマス祝会於・東金文化会館　12/19幼・保クリスマス礼拝　12/20幼稚園第二学期終了式　12/23教会学校クリスマス祝会　12/24教会学校及び教会クリスマス礼拝　12/24夜7時クリスマス燭火礼拝及びキャロリング　12/26山田台集会　12/28～1/3幼・保完全休園日　12/31歳末礼拝及び除夜祈祷会　1/7新年礼拝　1/9幼稚園始業式)

【分区・支区・教区報告】

○11/21 10:30 東総分区牧師会 於・九十九里

【11月19日～11月25日の誕生者】

○足立　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(11/12)	29	45	74
聖研祈祷会(11/15)	3	2	5
聖書輪読会(11/12)	3	4	7
教会学校(12/12)	8	14	22

早天祈祷会			
日	男	女	計
11/13	1	2	3
11/14	1	2	3
11/15	1	2	3
11/16	1	1	2
11/17	1	1	2

主日礼拝献金(11/12)……３３，０００円
教会学校献金(11/12)……６，１０１円

【今日のメッセージ】

題　［どうしてわたしですか］
聖書　出エジプト記6:10～13
1・民の苦境とモーセの生い立ち

2・モーセの目に映る自分

3・神の召しと約束

【次週(１１月２６日)礼拝案内】

題　［希望の源なる神］
聖書　ローマ書15:7～13
交読文　１３
讃美歌　７４番　５１７番
新聖歌　３１４番

【次週(11月２６日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	中村征一郎
司式者	安延
奏楽者	中村
受付者	三枝
案内者	藤本
名札当番	岡村
礼拝感謝祈祷	足立
〃　〃	井上
cs お話し	戸波
会堂清掃者	幼稚園教諭
〃　〃	
花係	小林
看板書き	藤田

【聖書から】

「心を騒がせるな。神を信じなさい。そしてわたしをも信じなさい。わたしの父の家には住む所がたくさんある。」
ヨハネ福音書一四章一、二節

主イエスは心を騒がせるなと言う。私達は心を騒がせることの多い者ではないか。この世に生きるということはそうではないだろうか。私達には心を騒がす元となるのはこの世にたくさんあるのである。家庭の中でのトラブルがある。夫婦の問題、子ども達の心配、健康問題…、あるいは職場での問題、特に近年はリストラや企業倒産といった私達の生活の根底が崩されるような問題が生じたりする。あるいは自分の内側からむくむくともたげる自分でも処理出来ないような、生の不安といったものもある。まことにこの世に生きるとはやっかいなものである。普段はそのような心を騒がせるものに気付かずに生きている私達である。自分の足場は盤石であるかのように思って生きている。ところが問題が生じた時、その問題が私達の手に余り、自分で処理できない程の重さを感じるような時、私達の生活の基盤は私達が思うほど強固でなく、薄い板の上で踊っているような不安に満ちたものであることに気付いたりする。この時の弟子達はそうだったのである。ユダヤの為政者達の圧迫を感じる中で自分達の小ささを恐れ、主イエスの説く神の教えが世の力の前に無力であるかのように思われた、それがこの時だったと思う。そしてこのような頼りなさは私たち信仰者の頼りなさである。なぜなら信仰者は絶えず神に問いかけ、神に願いを持ちながら生きる者だからである。この世と神、この狭間で生きている者が私達なのである。そしてそのような生き方は信仰者として正しい生き方である。真剣に神に問えば問うほど私達はこの問題を抱えてこの世を生きる。そしてこの問いを抱えるが故に私達は神に向かおう。不安を覚え、悩みを持ちつゝ神の顔を仰ぎ見ようとする。そして主イエスはこのような私達に神の世界がある！、神からの助けがある！、信じ希望を持ってこの世を生きよ！と言って下さる。聖霊の導きを願い、信じて生きて行こう。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。